



ROCK PAINT

環境配慮型 弱溶剤一液型特殊変性エポキシさび止め塗料

サビカット プラス[®]

高い
防錆力

環境
低負荷

上塗り
仕上性
良好

高隠蔽性

ホルムアルデヒド放散等級

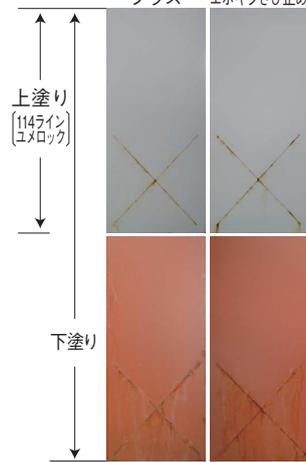
F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます。

防錆性比較試験

(耐塩水噴霧試験：480時間)

サビカット プラス 二液型変性
エポキシさび止め



上塗り塗装後
艶残りの
良いがあれば…

速乾で
防錆性の良い
さび止めは？

使いやすい
一液エポキシ系の
塗料はあるの？

“サビカットプラス”はそんな声から実現したさび止め塗料です。

PLUS

ロックペイント

お客様のニーズにお応えしました!!

環境配慮型 弱溶剤一液型特殊変性エポキシさび止め塗料
(一液型変性エポキシ樹脂さび止めペイント)

ザビカット®プラス

二液型と同等のすぐれた防錆性です。

二液型変性エポキシさび止め塗料と同等の防錆性があります。
また一液型のため、塗料を無駄にすることなくご使用いただけます。

上塗り塗料の仕上がりがすぐれます。

ザビカットプラスの塗り肌が緻密かつ平滑になるよう設計しているため、
上塗りの吸い込みをコントロールし、きめ細かな仕上がりを実現します。

高隠蔽性です。

1回塗りでも透けにくい設計です。

速乾ですすぐれた作業性です。

各種弱溶剤型上塗り塗料をその日のうちに塗装が可能です。
またハケ、ローラー運びが非常にスムーズです。

環境にやさしいターペン可溶タイプです。

鉛・クロムフリーで、高性能特殊防錆顔料を採用した環境にやさしい設計です。

幅広い下地・素材に塗装適性があります。

鉄・亜鉛メッキ、ステンレスなどの各種素材や旧塗膜に対してすぐれた
付着性があるため、新設・塗り替えを問わず幅広くご使用できます。



性能

項目		ザビカット® プラス	二液型変性 エポキシさび止め塗料
乾燥性 作業性	指触乾燥(23℃)	20分	1時間
	塗り重ね可能時間(23℃)	4時間	4時間
	可使時間(23℃)	ありません	5時間
防錆性 (耐塩水噴霧 300時間)	サビ幅	0.5mm以下	0.5mm以下
	ふくれ	○	○
	セロテープ剥離幅	1mm	1mm
金属素地 との 付着性	鉄(黒皮鋼板を含む)	○	○
	溶融亜鉛メッキ(トタンなど、HDZ-55除く) ^{※1}	○	○
	電気亜鉛メッキ(ボンデ鋼板など)	○	○
	ステンレス(SUS304など)	○	○
	アルミニウム(A1050Pなど、A6063S除く) ^{※2}	○	○

注1 キラキラ光輝している場合は塗装を避けてください。白サビは除去してください。

注2 素材の種類により、付着性が十分得られない場合がありますので注意してください。

上塗り塗装適性

塗料種	弊社該当製品	適用性
弱溶剤一液架橋型 NADウレタン樹脂塗料	ダイナロックⅢ	○
弱溶剤一液架橋型 NADアクリルシリコン樹脂塗料	1液ユメロックDX	○
合成樹脂調合ペイント	ロックコート(F4)	○
弱溶剤二液型 NADシリコンウレタン樹脂塗料	ユメロック ユメロックルーフ	○
弱溶剤二液型 NADアクリルシリコン樹脂塗料	ハイパーユメロック	○
弱溶剤二液常温硬化型 フッ素樹脂塗料	サンフロンUV	○
トタン屋根用塗料	1液ユメロックルーフ ロックトタンペイント各種	○
各種水性塗料	ハイパービルロックセラ ビニロックウレタンなど	×

旧塗膜との適用性

塗料種	弊社該当製品	適用性
合成樹脂調合ペイント	ロックコート(F4)	○
フタル酸樹脂エナメル	ロックタフコート	○
ポリウレタン樹脂系塗料	ロックウレタントップ	○
弱溶剤一液架橋型 NADウレタン樹脂塗料	ダイナロックⅢ	○
シリコン・フッ素樹脂系塗料	ユメロック、1液ユメロックDX ハイパーユメロック サンフロンUV	○ ^{*1}
遮熱塗料	シャネツロック外壁用	○ ^{*1}
トタン、金属屋根用塗料	ユメロックルーフ 1液ユメロックルーフ ロックトタンペイント シャネツロックルーフSi	○ ^{*2}
各種水性塗料	ハイパービルロックセラ ビニロックウレタンなど	×

*1 シリコン系塗料や焼付タイプの旧塗膜の場合は、付着性が十分得られない場合がありますので、ペーパー等を用いて表面荒らしを行ってください。

*2 塗料用シンナーに溶解、膨潤するような旧塗膜の場合は塗装できません。

注・旧塗膜については、塗装後数年以上の経年劣化した塗膜を前提としています。

- ・塗装仕様がF☆☆☆☆仕様の場合、上塗り塗料もF☆☆☆☆製品を使用してください。(ダイナロックⅢ、1液ユメロックDX、ユメロック、ハイパーユメロック、サンフロンUV)
- ・高日射反射率(遮熱)塗料で仕上げる場合、下塗りは専用のプライマーを選択してください。

乾燥時間

温度	指触乾燥	半硬化乾燥	塗り重ね可能時間 ^{注1}
5℃	30分	3時間	6時間以上10日以内
23℃	20分	2時間	4時間以上 7日以内
30℃	10分	1時間	3時間以上 7日以内

注1 施工方法、条件により、多少の幅が生じることがあります。特に施工時や被塗物の温度が低い場合に影響を受けやすく、注意が必要です。
 注2 (一社)日本塗料工業会 塗料用標準色による番号です。 注3 色は印刷ですので多少異なります。

容量・色

品番	色名(日塗工標準色 ^{注2})	容量	色 ^{注3}
061-3530	赤サビ色(07-30L)	16kg	
061-3531	グレー(N-75)	16kg	
061-3532	ホワイト(N-93)	16kg	

標準塗装仕様

●鉄部、亜鉛メッキ、アルミなど内外部の新設〔弱溶剤一液架橋型塗料仕上げ〕

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量* (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間(23℃)
素地調整	鉄部の場合は電動工具、手工具を併用し、黒皮や赤サビは除去する。日本道路協会素地調整程度「2種ケレン」、SIS St3程度。じんあい、水分、油脂分は完全に除去。非鉄金属の場合は油脂、水分、ごみほこりは完全に除去し、白サビがある場合はサンドペーパー、ワイヤーブラシ、その他の手工具で完全に除去。「2種ケレン」					
下塗り	061ライン サビカットプラス	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：0～10 エアレス：10～15	1	0.12～0.14	4時間以上 7日以内
上塗り① (ウレタン仕上げ)	018ライン ダイナロックⅢ	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	12時間以上
上塗り② (アクリルシリコン仕上げ)	024ライン 1液ユメロックDX	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	2時間以上

●鉄部、亜鉛メッキ、アルミなど内外部の塗り替え〔弱溶剤一液架橋型塗料仕上げ〕

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量* (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	061ライン サビカットプラス	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：0～10 エアレス：10～15	1	0.12～0.14	4時間以上 7日以内
上塗り① (ウレタン仕上げ)	018ライン ダイナロックⅢ	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	12時間以上
上塗り② (アクリルシリコン仕上げ)	024ライン 1液ユメロックDX	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	2時間以上

●鉄部、亜鉛メッキ、アルミなど内外部の塗り替え〔弱溶剤二液型NADシリコン系樹脂塗料仕上げ〕

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量* (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	061ライン サビカットプラス	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：0～10 エアレス：10～15	1	0.12～0.14	4時間以上 7日以内
上塗り① (シリコンウレタン仕上げ)	114ライン ユメロック 配合比(重量) 主剤9：硬化剤1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	2時間以上
上塗り② (アクリルシリコン仕上げ)	114ライン ハイパーユメロック 配合比(重量) 主剤9：硬化剤1	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	2時間以上 7日以内

●鋼製屋根・トタンなどの塗り替え〔屋根用・弱溶剤1液型アクリルシリコン樹脂塗料仕上げ〕

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法及び希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量* (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間(23℃)
下地調整	旧塗膜ではがれかかった部分、ふくれ部分は皮スキ、ワイヤーブラシ等のケレン具で、浮き塗膜、サビなどは電動工具、手工具で除去する。チョーキングした面、汚れ、じんあいなどはサンドペーパー、ウエス等で除去し、乾燥した清浄な面とする。					
下塗り	061ライン サビカットプラス	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：0～10 エアレス：10～15	1	0.12～0.14	4時間以上 7日以内
上塗り	024ライン 1液ユメロックルーフ	塗料用シンナー	ハケ・ローラー：5～15 エアレス：10～20	2	0.11～0.13	2時間以上

* 標準塗付量については、塗装時のロス考慮に入れた数値で形状、素材、塗装方法などにより多少異なります。上塗りは必ず2回塗り以上で仕上げてください。
 1回塗りでは上塗りの性能が十分発揮できません。

注) 遮熱塗料、高日射反射率塗料仕上げの場合、下塗りは専用のプライマーを使用してください。

使用上及び施工上の注意事項

- ・使用前に塗料を十分攪拌し、全体を均一にしてください。
- ・気温が低く湿度が高い場合は完全な塗膜ができにくく、十分な性能を発揮できませんので、気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- ・降雨、降雪、強風などの場合や天候不良が予測される場合は塗装を避けてください。
- ・素地の油脂分、水分、ほこりなどはよく清掃してから塗装してください。
- ・飛散防止のため、塗装しないところは養生をしてください。
- ・乾燥過程で、霜、夜露等の影響を受ける恐れがある時間帯の塗装は避けてください。
- ・屋外塗装の場合は必ず高圧水洗浄、ブラシ等により水洗浄を行い、塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、砂、枯れ葉などの汚れや、剥がれかかった塗膜は確実に取り除いてください。
- ・先に塗りにくい所を塗ってから、また高い所から下の方に塗り場を確保しながら塗装してください。作業時の安全には十分注意し、高所で作業をする場合は安全ロープをかけてください。
- ・素地が直射日光などで極端に熱くなっているときは塗装を避け、少し冷えてから塗装してください。
- ・改修塗装の場合、素地の種類によって塗膜不良となる事があります。予め適切な処理を行い、試し塗りを実施後仕様を決めてください。
- ・塗装作業中及び塗膜を乾燥させる際には十分に換気を行い、火気厳禁を守ってください。
- ・各工程の塗装間隔や塗装回数、塗分量、希釈量を守らなかった場合、塗膜不良となることがあります。また各工程において、当社規定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られない場合があります。
- ・標準塗装仕様中の標準塗分量については塗装時のロスを考慮に入れた数値です。
- ・この塗料はホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆タイプです。塗装工程上

- F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、材料を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔、塗分量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆仕様でなくなることがありますので注意してください。
- ・溶接接合部や下塗りにキズがある場合はその部分が塗膜不良となりやすいので、素地調整後、補修塗装を行ってから塗装してください。
- ・屋根部など通常温度が高くなると工程間隔が短くなり、上塗り塗料との付着性が低下して層間剥離を起こすことがありますので注意してください。このような場合、4時間乾燥させた後、あまり日数を置かずやかに次の工程を行ってください。もし長期間経過した場合はサンドペーパーまたはパワーブラシ等で表面を目荒らした後に、脱脂した上で上塗り塗装をしてください。
- ・上塗り塗装時はサビカットプラスの塗装面を何度もしごきますと、サビカットプラスが再溶解やにじみを発生し、仕上がりに悪影響を及ぼす場合がありますので注意してください。
- ・塗装面の取り合い等で、可塑性を含む塩ビ鋼板、ラミネート鋼板、プラスチック、ゴムパッキン、塩ビクロスなどへの直接の塗装は、塗膜が軟化することがありますので避けてください。また、これらの素材に塗膜が接触・付着しないように注意してください。
- ・さび止め塗装後、塗り重ね可能時間を守ってください。硬化が不十分ですと塗料用シンナーで再溶解する場合があります。
- ・内部の塗り替えにおいて、旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合はサンドペーパーなどで研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は塗膜剥離などを起こす場合があります。
- ・上塗り塗装は必ず2回塗り以上で仕上げてください。
- ・ハケなど塗装用具の洗浄にはラッカーシンナーを使用してください。
- ・このカタログに記載している上塗り塗料の詳細な使用方法については、それぞれのカatalogをご参照ください。

安全衛生上及び取扱い上の注意

〔製品の危険・有害性〕

- ・引火性の液体である。
- ・溶剤蒸気を吸入すると中毒を引き起こす。
- ・大量又は継続的な暴露により重大な健康障害を引き起こす。
- ・感作性があり、皮膚に付着するとかぶれやアレルギーを引き起こす恐れがある。
- ・**スプレーダストや塗料の付着したウエスなどは発熱し、自然発火する恐れがある。**

〔救急処置〕

- ・目に入った場合には直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所に安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。

〔施工後の安全性について〕

- ・本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うように指導ください。
- ・不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板などを設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようご配慮願います。

〔取扱注意事項〕

- ・取扱いは引火源のないところで、特に静電気が発生するような衣服の着用や、取扱いは避けてください。
 - ・取扱作業所には局所排気装置を設け、塗装時及び乾燥時には十分換気を行ってください。
 - ・溶剤蒸気やスプレーダストを吸入しないように、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。
 - ・できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、保護手袋(耐溶性)、長袖作業着などを着用してください。
 - ・アレルギー体質の人は取り扱わないでください。
 - ・取扱い後は手洗い及びうがいを十分に行ってください。
 - ・作業着などに付着した汚れをよく落としてください。
 - ・使用済みウエス、塗料かす、スプレーダストなどは、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
 - ・よくフタをして直射日光を避け、5℃以上 40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
 - ・指定された以外の商品と混合しないでください。
 - ・廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
 - ・火災時には炭酸ガス、泡又は粉末消火器を用いてください。
- 安全データシート(SDS)をよく読んで取り扱ってください。



ロックペイント株式会社

東京営業部 〒136-0076 東京都江東区南砂2-37-2 大阪営業部 〒555-0033 大阪市西淀川区姫島3-1-47
TEL(03)3640-6000 FAX(03)3640-9000 TEL(06)6473-1650 FAX(06)6473-1000
札幌営業部 〒003-0011 札幌市白石区中央一条4-3-48 名古屋営業部 〒454-0059 名古屋市中川区福川町1-1
TEL(011)812-2761 FAX(011)812-9304 TEL(052)351-6500 FAX(052)361-7433
仙台営業部 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代23-11 遼正ビル201 岡山営業部 〒701-1134 岡山市北区三和1000番34
TEL(022)349-8677 FAX(022)283-3255 TEL(086)294-1201 FAX(086)294-6966
西関東営業部 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-15-16 福岡営業部 〒811-0119 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3-2-1
TEL(042)700-3111 FAX(042)700-3112 TEL(092)962-0661 FAX(092)963-1241

URL <https://www.rockpaint.co.jp>

- 本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店